

■ 『中央美術』<sup>そうかん</sup>を創刊

# 田口 掬汀

たぐち きくてい

出身地 仙北市（旧角館町）

1875年（明治8年）～1943年（昭和18年）

上京後、小説『人の罪』<sup>いちやく</sup>で一躍流行作家となる。新聞小説、家庭小説、また新派創生期<sup>しんぱ そうせい き</sup>に演劇<sup>えんげき</sup>で活躍<sup>かつやく</sup>。

美術界では雑誌『中央美術』<sup>そうかん</sup>を創刊。若い日本画家<sup>ざっし</sup>を集めて啓蒙運動<sup>けいもう</sup>を行う。



## 年譜

- 1875年 仙北市<sup>かくのだて</sup>（旧角館町）に生まれる。  
本名・菊治<sup>きくじ</sup>のち鏡次郎<sup>きやうじろう</sup>。
- 1890年 角館尋常高等小学校<sup>じんじやう</sup>卒業。
- 1891年 郡役所<sup>やとい</sup>の雇、秋田新聞の通信員となる。
- 1900年 上京。新聲社<sup>しんせいしゃ</sup>の編集部記者。
- 1903年 万朝報<sup>よろずちやうほう</sup>に入社。11年、大阪毎日<sup>おおさか</sup>に入社。
- 1915年 中央美術社<sup>そうせつ</sup>を創設、美術雑誌『中央美術』<sup>ざっし</sup>を創刊<sup>そうかん</sup>。  
日本美術学院<sup>そうりつ</sup>を創立。
- 1916年 金鈴社<sup>きんれいしゃ</sup>を結成。
- 1943年 東京都<sup>ぼつ</sup>で没。68歳<sup>さい</sup>。